



ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業

必ず良いことがある人のために送る!

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

【発行日】2007年7月1日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】http://www.daichiku.jp/

ウラ面も情報満載!

■ユーザーさん登場■米山泰一氏・DCブランドデザイナーから陶芸の世界へ



■クリスマスチャンドールの重役から電報がきた、「このデザインに敬意を表す」と。インディアンをモチーフにしたスカーフは大ヒット!、その後もヒットを連発、社長賞も貰ったことがあるという。そんなすごい経歴を持つ陶芸家が益子に住んでいる。■そんな米山さんと話をすると、権威をきらい独立独歩で自分の考えを通す強い意思と個性が伝わってくる。1952年鹿児島の高校を卒業後、早稲田大学へ進むが中退、美術の道を目指し上京、桑原デザイン研究所(現東京造形大学)を経て東京藝術大学で陶芸を専攻した。その後はカネボウ意匠研究所で勤務した後フリーで活躍。一方で陶芸への思いは日ごとに増し昭和63年、五十代半ばにして益子に移り住みガス窯を築いた。以来、東京など各地で個展やグループ展を開き精力的に活動中!

■ふるさと鹿児島で個展 ~50年ぶりに帰郷~

■平成17年夏、米山さんは実に50年ぶりにふるさと鹿児島市に帰郷し個展を開いた。すでに地元の名士となっている旧友たちの強いバックアップで老舗デパートでの個展が実現した。来客の中には、訳あって杖をついてでも来てくれた同級生がいたという。また、元「ミス鹿児島」も作品を購入、さらに南日本テレビ(MBS)ではテレビCM、南日本新聞には取材記事掲載、キャデラックやベンツでの送迎という厚遇ぶりだった。「同級生たちは思いつくことを次々にやってくれたよ」と米山さんはたいへん感謝しているようです。こんなところに九州薩摩の盛り立てあう気質が表れていると思います。こうしてくれるのも米山さんの人柄力によるものと確信しています。

うれしい! 楽しい! 大好き! ダイチク!

【米山泰一氏略歴】

- 1933年 東京に生まれる
- 1942年 鹿児島に疎開
- 1964年 東京芸術大学美術部工芸科陶芸専攻卒業
カネボウ意匠研究室勤務
- 1969年 フリーテキストスタイルデザイナー
- 1988年 栃木県益子町にガス窯築窯 現在に至る

■米山さん語録(お話を聞いて印象に残った言葉)

- 「工芸は機能をもっている」■「モノと付き合うことが原点」■「芸術には解説は無しが本当だよ」■「モノは感じればいい、だから自分が感じるものが一番なんだ」
- 「いろんな可能性がある、夢がある」■「芸術はコンセプトが問題」■「芸術は賞や権威ではない」■「土をどうするかだ」■「紙と鉛筆で何かを描けと言われて、絵だけしかかけないのではダメなんだ!」など。

■ダイチクのガス窯にした理由は

■弊社の窯を選ばれた理由を聞いてみると、米山さんは「先代社長の窯に対する考え方に共感したこと」と、「分散外注せず自前の技術ですべて作り上げること」に感銘を受けたから、と話してくれました。このポリシーは今でも受け継がれています。

■真空土練機のこんな口金(くちがね)を作りました。



①鉄の板を旋盤で丸く加工し、穴の場所をポンチでしるしを付ける。 ②ボール盤で穴を開ける。 ③穴開け完了!きれいに開きました。 ④土練機に取り付け ⑤土を出してみました。 ⑥ひも状の土のできるものは?

ニュースレターご購入感謝プレゼント!!!

おかげさまで大好評の当ニュースレター、感謝を込めて専用オリジナルファイル(手作り)を今月も10名様にプレゼントいたします。お電話、FAX、Eメールでお申込みください。

ニュースレターのご感想をお寄せください。

当ニュースレターは次号でめでたく10号となります。当初は大きかった文字もだんだん小さくなってきました。皆様方のより良い情報源となりますよう「楽しみながら」続けてゆきたいと思っております。つきましてはご感想をお寄せください。ささやかなお礼をさせていただきます。

■陶芸羅針盤■發釉剤CP-H・CP-L



- 釉薬の掛け分けをする場合、先に掛ける釉に添加しておく、後から掛けた釉は先掛け釉にはのりません。CP-HとCP-Lは7:3がベスト!
- CP-H : 3,150円/1kg
- CP-L : 2,625円/1kg
- ご使用に当たっては使用上の注意を良くお読みください。

■山中写真館・山中晃(こう)氏■若手陶芸家に厚い信頼・個展用DMやパンフも格安で提供

■写真館(写真屋さん)で個展用ダイレクトメール(DM)のデザインやパンフレットの作成をしてもらえるということが、意外と知られていない。山中晃氏は各種記念写真撮影が本業だが、こういった仕事も引き受けてくれる。特に伝手の少ない若手作家には格安でできて、しかも、よく相談にもものってくれる頼もしい存在といえる。■山中写真館は1919年より笠間稲荷神社近くで写真館を営んでおり、現在で3代目。市内にはいくつか写真店があるが、デジタル処理技術は笠間で一番といえる。また、印刷との関わりも以外と古く昭和始めの頃から学校の卒業アルバム制作で培ってきたノウハウが活かしている。



写真館サイトへ...



■若手陶芸家が個展を行う場合には、自らDMを用意し制作費も自己負担で行っていることも多い。こうしたコストを極力下げることができれば、陶芸家にとってありがたいことだろう。また、その業者が近くにあるとなるとさらに便利である。■山中氏は「将来性のある若手陶芸家が、自分の作ったDMで名前が売れてくれることと焼き物のPRになれば」と話してくれました。

PhotoGallery...



連絡先:T.F0296-72-0164
URL <http://myworks.blog.shinobi.jp/>
お得なキャンペーン情報も満載!!

■環境に配慮した印刷方法へ“大豆油インキ”を使用■山中写真館

■印刷方法においても山中晃氏は環境に配慮した取り組みを行っている。従来の印刷用インキに含まれる石油系溶剤の一部を大豆油に代替した“大豆油インキ”を積極的に使用している。これはアメリカでは一般的であるが日本ではまだ知名度は高くない。大豆油インキは揮発性有機化合物の発生が少なく、紙と分離しやすいためリサイクルにも適しています。また、印刷紙にもこだわり、ものによっては古紙含有率の高い再生紙の利用も心がけている。

【従来インキから見た大豆油インキの特徴】

- 自然に還元する生分解も容易です。
- 揮発性有機化合物の大気排出をセーブできます。
- 植物性的大豆油を利用するため石油資源の抑制につながります。
- 脱墨性に優れリサイクルの際、明度の高い再生紙ができます。

大豆油インキでの印刷をした時に
入れるロゴ。

古紙含有率100%であることを証
明するロゴ。



PRINTED WITH
SOY INK™

R100

■渋谷の女性専用温泉施設で爆発・原因は天然ガスか？



■6月19日午後2時30分ごろ、東京都渋谷区の女性専用温泉施設「シエスパ」に隣接する別棟の従業員更衣室(地上1階地下1階)で爆発があり、建物の屋根や壁がすべて吹き飛ばすなど大破しました。原因は天然ガスの漏出とみられています。■ではなぜ天然ガスの漏出に気がつかなかったのでしょうか？天然ガスなどの炭素化合物は自然の状態では無味無臭です。つまり臭いも味もまったくしないのです。これが空気中に一定の割合(8%前後)で混合され、これに点火すると、激しく燃焼して大きな破壊力を持ちます。この現象が爆発です。■工業用や家庭用に使用されるプロパンガスやブタンガスには「臭い」が着けてあるので、窯の周りでガス臭さを感じたら、火をつけたり、換気扇のスイッチを入れることはしないでください。

■プロパンガス・ブタンガスの燃焼範囲

■特殊なものを除いて、物質は酸素がないと燃えることはありません。そこでガスと空気がどの程度混合した場合に燃焼するかを示した値が、燃焼範囲(爆発限界・燃焼限界)といえます。これは空気と可燃性ガスの混合割合で表示され、最高濃度を上限、最低濃度を下限と呼んでいます。(表:1参照)燃焼範囲にあるLPガスをバーナーに供給しながら燃焼させると一定の速度で安定して燃焼します。これが灯油と違うところです。■陶芸窯で使用されるLPガスのプロパンガス(C₃H₈)、ブタンガス(C₄H₁₀)は燃焼範囲の下限が小さいので漏えいが少量でも危険性があるので、注意してください。

【ダイチクのウンチク】ガス臭いな!と思ったら、ドライアイス想像してみる?

■プロパンガス(C₃H₈)とドライアイス(CO₂)の分子量はそれぞれ44で同じです。ですから、空気中での気体の動きはまったく同じと言って良いでしょう。「ガス臭い」ということは、鼻の近くまでドライアイスの雲のような動きをするプロパンガスが来ていると思ってよいでしょう。こういうときは換気扇など回さず、窓を開けて“ほうき”で掃きだしてください。■分子量の計算・プロパンガス(C₃H₈):C=12、H=1であるので12×3+1×8=44 ドライアイス(CO₂):C=12、O=16であるので、12×1+16×2=44 となります。

主な可燃性ガスの燃焼範囲

ガス名	燃焼範囲(%)	
	下限	上限
メタン	5.0	15.0
エタン	3.0	12.4
プロパン	2.1	9.5
ブタン	1.8	8.4
エチレン	2.7	36.0
プロピレン	2.0	11.0
ブチレン	1.6	10.0
アセチレン	2.5	81.0
水素	4.0	75.0
一酸化炭素	12.5	74.0

(表:1)

■お知らせ■中古品情報!無料パレット・レンガ片など

【笠間仕法土】いつもご愛顧いただいております笠間仕法土1、2号は7月より20kg/本となりました。価格は1号・1,680円、2号・1,470円です。今後とも宜しくお願いいたします。

【無料品】パレット、レンガ片、ファイバー片など無料で差し上げます。詳しくはお電話で→0296-72-1444

■ガス窯・電気窯/ダイチクの貸し窯 ご利用料金/1窯■

- ガス窯0.4㎡・・・本焼き15,000円・素焼き5,000円
 - 電気窯8kw・・・本焼き3,000円・素焼き2,000円
 - 電気窯10kw・・・素焼き3,000円
 - ・使用期間中はポットミルの使用は無料
 - ・電子レンジ・仮眠室あり(無料)
- お申し込みは、直接または0296-72-1444(金沢)まで